

# 山梨の豊かさ共創基盤構築に向けた産業人材の在り方について

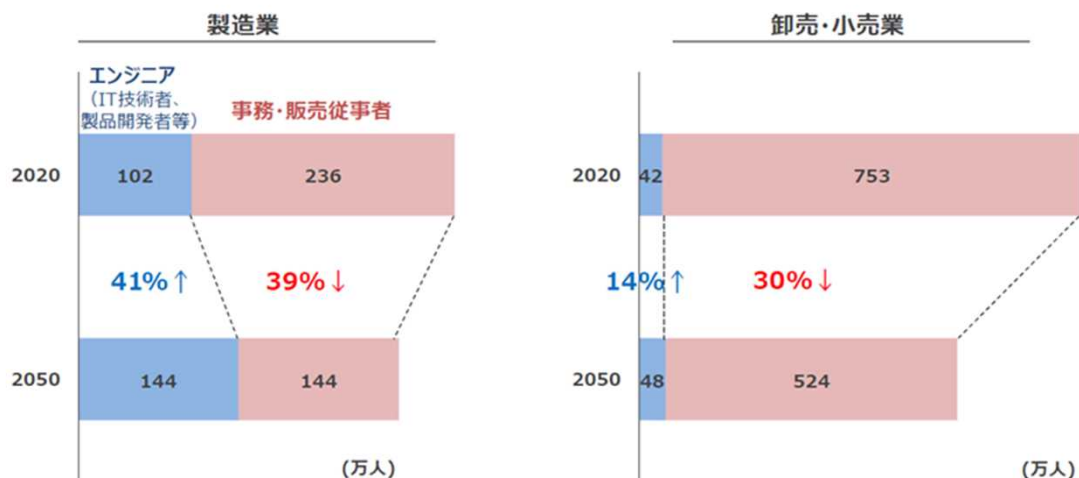
## 中間報告

### 山梨県

# 1. データの整理・分析 ① 県内の技術者および事務・販売従事者の状況

- ✓ 未来人材ビジョンでは、高成長シナリオ(デジタル化と脱炭素化が進展し、高い成長率を実現)において、これから2050年にかけてエンジニアのような職種の需要が増える一方で、事務・販売従事者といった職種に対する需要は減少すると提言されている。
- ✓ 山梨県における技術者および事務・販売従事者の構成は、それぞれ全国の水準と大きな乖離はない
- ✓ 今後、事務・販売従事者は需要減少が見込まれていることから、これらの人材の流動化やスキルシフトが必要となる。

全国のエンジニアおよび事務・販売従事者の人材需要予測



(出所) 経済産業省 令和4年5月「未来人材ビジョン」

山梨県の技術者、事務・販売従事者の就労者数と割合

職種	山梨県		全国	
	就労者数	割合	就労者数	割合
総就労者数	407,430	—	58,890,810	—
技術者	14,110	3.5%	2,379,060	4.0%
事務従事者	72,360	17.8%	11,446,270	19.4%
販売従事者	45,440	11.2%	7,315,740	12.4%

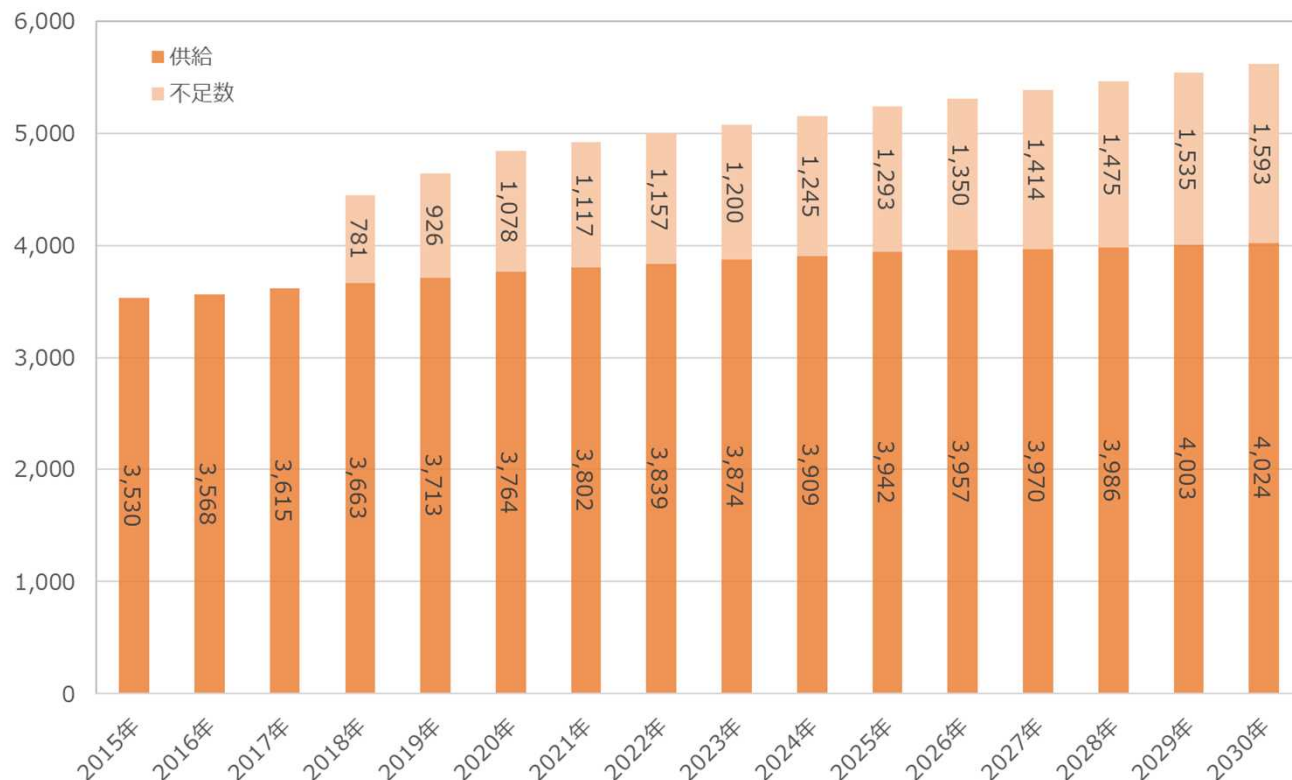
(出所) 平成27年国勢調査より日本総研作成



### 3. データの整理・分析 ③IT人材の不足

- ✓ 今後あらゆる産業でDXが推進される中で、その担い手となるIT人材をいかに確保し得るかは、産業を成長させていく上で重要なポイントとなる。
- ✓ また、IT人材の獲得はどの自治体においても必要不可欠であることから、今後、人材の獲得競争が激化することが想定される。
- ✓ そのような中で、全国のIT不足数比率を山梨県に適用した結果が次図である。2030年時点で1600人程度の不足が見込まれており、IT人材の不足が今後の山梨県の産業全体に悪影響を及ぼす可能性がある。

IT人材の「不足数」(需要)に関する試算結果(山梨県)



全国のIT人材数及び不足数を山梨県の人数で按分

(出所)：経済産業省「IT 人材需給に関する調査」(2019年3月)と平成27年国勢調査より日本総研作成

## 4. 今後の重点産業を考える際の「8つの視点」 (有識者ヒアリングの結果)

- ✓ 山梨県の産業が進むべき方向性に関して有識者から自由に意見を伺った。
- ✓ 山梨県の持続可能な産業を創り上げていくには、「8つの視点」を押さえておくべきとの共通見解が確認された。

1	山梨県の「地の利」を活かす	<p>～グリーン水素などの産業化～ 東京に近い地の利を生かしたグリーン水素・自然エネルギーなどの産業化。</p> <p>～外国人の二拠点居住の推進～ 日本在住の外国人ビジネスマンを豊かな自然環境で本県に誘導。</p>
2	山梨県の「既存の強み」をバージョンアップする	<p>～DX&amp;ロジスティクスの観点から製造業の高付加価値化を加速～ 山梨県の製造業をDXでさらに強化。今後の最大の消費地であるアジアを視野にロジスティクスの観点から高付加価値型の製造業を戦略的に集積。</p>
3	あらゆる産業の「DX」を加速する	<p>～確実に爆発的なニーズがある社会・産業のデジタル化～ 製造業、観光業をはじめ、医療・介護・ヘルスケア分野や農業をデジタル化するなど、産業の競争力に直結するDXを早急に推進。</p>
4	世界的潮流の「経済のソフト化」を先取りしていく	<p>～コンテンツ系産業の創出～ 知識や情報、企画、デザイン等のソフトな業務と、デジタル技術・山梨の自然・風土を結びつけ新たなコンテンツ産業等を育成。</p>
5	産業の「ミックス&インテグレーション」を仕掛ける	<p>～カーボンニュートラル産業～ カーボンニュートラルをコンセプトに製造業・観光業を横串しにした新産業の創出。</p> <p>～美酒・美食を軸にした新産業の創出～ 山梨の美酒・美食を核に他産業と連携し、新たな人の流れを創造。</p>
6	同質的な競争ではなく「独自の勝ち筋」を描く	<p>～山梨独自のストーリーの創出～ 固有の物語が重要。同質化競争ではなく、いろいろな人を巻き込むための山梨県の強みに注力する差別化戦略が必要。</p>
7	産業の基盤としての「中小企業の経営力向上」を促進する	<p>～中小企業の人材育成～ 大手企業と歩調を合わせ、県内中小企業のサプライチェーン全体の技術力強化。</p> <p>～意欲的な小規模企業への支援～ 一度外に出て戻ってきた人間には変革への強い意識があり、こうした意欲的な小規模企業を応援し波及していくことが重要。</p>
8	「研究開発機能を持つ大企業等の誘致」を促進する	<p>～研究開発機能を持つ企業の誘致～ 本県産業を高付加価値化し持続的発展のため、研究開発機能を持つ大手企業等の誘致が重要。</p>

## 5. 山梨県として注力すべき産業（案）（有識者ヒアリングの結果）

✓ 前頁の「8つの視点」より、有識者の意見として、山梨県の今後の6つの有望産業が提案された。

### 重点産業

### 8つの視点

1「地の利」の活用	2「既存の強み」の活用	3「DX」を加速	4「経済のソフト化」	5「ミックス&インテグレーション」	6「独自の勝ち筋」	7「中小企業の経営力向上」	8「大企業等の誘致」
-----------	-------------	----------	------------	-------------------	-----------	---------------	------------

#### ① AI・IoTを活用したデジタルものづくり産業

- AI・IoTなどのIT技術を活用して製造プロセスを抜本的に変革し、県の地理的・歴史的な強みを生かした「ものづくり産業」を強化する。



#### ② 来県者の体験価値を高めるホスピタリティ産業

- 楽しみや癒しを得られる周遊、アクティビティ、宿泊を通じて、「高単価×長期滞在×リピート」によるエクスペリエンスの高付加価値化を進める。



#### ③ 世界水準の脱炭素社会をリードするサステナビリティ産業

- 水素・燃料電池の研究力を活かし、県内産業全体でカーボンニュートラルでビジネスや観光等が出来る社会システム、デジタル基盤を構築する。



#### ④ 至福の時をつくる世界唯一の美酒・美食産業

- 国内有数のワイン、日本酒、ウイスキーが揃う独自性や季節の農産物・食材を活かし、世界から注目を集める美酒・美食産業を創造する。



#### ⑤ 地域の価値を発見し世界に発信するコンテンツ産業

- 地域の自然環境や伝統産業などの価値を見出し、クリエイターなどとのコラボレーションを通じて山梨県の魅力を世界に発信していく。



#### ⑥ DXで自己変革を遂げる中小企業

- 各分野のエキスパート人材の専門スキルを活用しながら、デジタル技術を活用して、中小企業の経営力強化とビジネスモデル変革を推進する。



## 6. 山梨県として必要性が高まる人材タイプ<sup>°</sup>（案） （有識者ヒアリングの結果）

✓ 6つの有望産業を創造し、収益をあげていくために必要性が高まる人材タイプとして以下の6タイプが提案された。

人材タイプ	重点産業	①デジタル ものづくり 産業	②ホスピタ リティ産業	③サステナ ビリティ産 業	④美酒・美 食産業	⑤コンテ ンツ産業	⑥中小企 業の変革
				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>【タイプ1】新ビジネスを創造するDX推進人材</b> AI、IoTの最先端テクノロジーを駆使し、ものづくり、観光、食、サービス等々のあらゆる業界でDX（デジタル&トランスフォーメーション）を企画・実行する人材		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>【タイプ2】ものづくりの未来を支える現場変革人材</b> ✓ 精密加工等の生産性向上を現場で牽引できるエンジニア ✓ ものづくり現場の脱炭素、グリーン化を推進できるGX人材	↔	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>【タイプ3】山梨の豊かさを伝えるホスピタリティ・共感力人材</b> ✓ 他業界を巻き込みながら観光業の高付加価値化を推進する経営人材 ✓ 観光業の現場の生産性向上をITを活用し、推進できる人材	↔	-	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<b>【タイプ4】山梨に風を起こす新産業プロデューサー人材</b> ✓ 次世代社会のビジョンを描き、ビジネスモデル開発を主導できる人材 ✓ 美酒・美食を核にする新産業のプロデューサー人材	↔	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<b>【タイプ5】革新的な事業を立ち上げるイノベーター人材</b> ✓ 革新的なアイデア・技術シーズ等を活用して起業するスタートアップ人材 ✓ 企業内で新規事業を起こすアントレプレナー人材	↔	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<b>【タイプ6】中小企業の高度化に向けた経営戦略人材</b> ✓ 中小企業の経営人材（主に後継者） ✓ 中小企業のビジネスモデルを変革できる経営企画人材 ✓ 中小企業の経営変革をサポートできる専門人材	↔	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>

# 今回の共創会議でご議論いただきたいポイント

- ① 今後の重点産業を考える際の視点
- ② 山梨県として注力すべき産業
- ③ 山梨県として必要性が高まる人材
- ④ このための人材育成の方策（自由討論）